

守山市立守山南中学校 学校だより

SOUTHERN CROSS ROAD

サザンクロスロード

青春の交差点で見上げた、南十字の星

令和8年1月7日

発行者 校長 森川 茂樹

進展する科学技術の中心にいるのは皆さん一人ひとり 人型ロボットと共に生きる未来を見つめて

新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。年頭にあたり、皆さんとともに、これからの社会や未来について考えてみたいと思います。

今年1月1日の毎日新聞では、「人型ロボット（ヒューマノイド）」を特集した記事が掲載されていました。人と同じような形をしたロボットが急速に進化し、工場や物流、医療、介護など、さまざまな場面で人と協力して働く社会が現実のものになりつつある、という内容でした。私たちの身近なところで、人とロボットが共に生活し、共に仕事をする時代が近づいているように感じます。

ここで少し振り返ってみたいと思います。私が中学校教諭として教壇に立ち始めた平成元年は、学校教育にコンピュータが導入され始めた時代でした。技術・家庭科の技術分野には「情報基礎」という領域が設けられ、情報教育がスタートしました。各学校にはコンピュータ教室が整備され、当時はデスクトップ型のパソコンを生徒二人で一台使うのが当たり前でした。その授業では、BASIC 言語を用いて簡単なプログラムを組み、順序立てて指示を出すことでコンピュータが動く仕組み、いわゆるアルゴリズムを学びました。起動に時間がかかり、できることも限られていましたが、自分の入力した命令によって画面が変化することに、大きな驚きと可能性を感じたことを覚えています。

それから三十数年が経ち、現在は国のギガスクール構想により、一人一台のタブレット端末を活用する時代となりました。さらに近年はAIが急速に普及し、専門的なプログラム言語を使わなくても、日本語による「プロンプト」でコンピュータやAIに指示を出せるようになっていきます。この変化は、人型ロボットが社会で活躍する未来とも深くつながっています。しかし、どれほど技術が進歩しても、ロボットをどのように使うのか、何のために使うのかを考え、判断するのは人間です。誰もが簡単に指示を出せる時代だからこそ、その結果や影響を考える力が、これまで以上に重要になります。

また、介護や見守りの場面でロボットに支えられたとき、私たちは自然と「ありがとう」という感謝の気持ちを抱くことになるかもしれません。人の生活を助け、寄り添う存在として、心の支えとなることへの期待も広がっていくことでしょう。その一方で、人と人との関わりが薄れてしまわないか、判断や責任をロボットに任せ過ぎてしまわないかといった不安が伴うことも、忘れてはならない点です。

新しい年の始まりにあたり、進展する科学技術と向き合いながら、人とロボットが共に生きる未来を考えてみてください。その中心にいるのは、これからの社会を生きる皆さん一人一人です。大人として成長していく過程で、知識を蓄え、物事を多面的に考える力を身に付けるとともに、人の思いや痛みに気付く感性を育てていくことが、これまで以上に大切になると考えています。



新しい年を迎えて…



令和8年が始まりました。それぞれ気持ちも新たに新年を迎えたことと思います。始業式後に各学年の代表者が「新年の抱負」を発表しました。

1年生の瀧本彩結さんは、中学校入学から様々な経験を通し、中学校生活で新たに得たことと、2年生に向けて今からスタートを切る決意を語りました。

2年生の北野志織さんは、3年生に進級することを踏まえ、まだ時間があると油断せず、目標に向かって逆算しながら計画的に行動することを述べました。

3年生の土蔵素楽さんは、中学校を卒業することを念頭に置き、後悔なく笑顔で進むためにやるべきことはすべてすること、自分を信じて進んでいくことを力強く語りました。

さて、みなさんが進学や進級等で新たなステージに立つのは4月からになりますが、その時に向け、今から準備・助走していくことが大切です。令和8年の干支は午年（うまどし）です。みなさんが、勢いよく踏み出し、未来へ駆ける一年になるよう願っています。



【始業式】



【教室の様子】

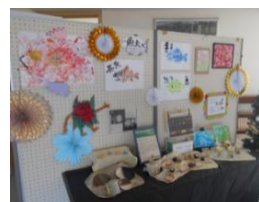
未来委員会による募金活動

12月15日から1週間、生徒会未来委員が昇降口に立ち、赤い羽根共同募金箱を手に登校する生徒一人ひとりに向けて、募金への協力をお願いかけました。寒い朝の時間帯にもかかわらず、生徒たちは明るい声でありさつをし、募金活動に取り組みました。この取組で、3,868円の募金がありました。



野洲養護学校の児童生徒作品を展示

12月の三者懇談会の時期に、本校玄関ロビーで滋賀県立野洲養護学校の児童生徒が製作した作品を展示しました。この先金森町に新たに特別支援学校が開設される予定ですが、本校生徒や保護者に、特別支援学校やそこに通う児童生徒のことを少しでも身近に感じ、理解を深めてもらうことを目的として実施されたものです。



1月の予定

7日（水） 始業式
8日（木） 給食開始



2月の予定

2日（月） R8新入生物品販売（午前中授業）
県内私学入試
3日（火） 県内私学入試
10日（月） 京都私学入試
11日（火） 京都私学入試【建国記念の日】
12日（水） 京都私学入試
16日（月） 3年生 第4回定期テスト
17日（火） 3年生 第4回定期テスト
25日（水） 1・2年生 第4回定期テスト
26日（木） 1・2年生 第4回定期テスト

「ネコル+アプリ」の活用について

本校では、10月より欠席連絡のフォームを「ネコル+アプリ」に変更しました。

本日、メール配信しましたが、このアプリの欠席連絡は、当日だけでなく次の日以降の欠席も入力することができます。（詳細は、本配信メールの添付『「ネコル+」アプリによる欠席連絡について』をご参照ください）

また、感染症による学級閉鎖があった場合、お子様の健康状態の確認に利用することがありますので、ご協力をお願いします。

